

たすけ愛信太だより

発行:たすけ愛信太
 <世話人>
 藪下 純男 (田原)
 井本 正和 (嵯峨谷)

2020年3月 第1号

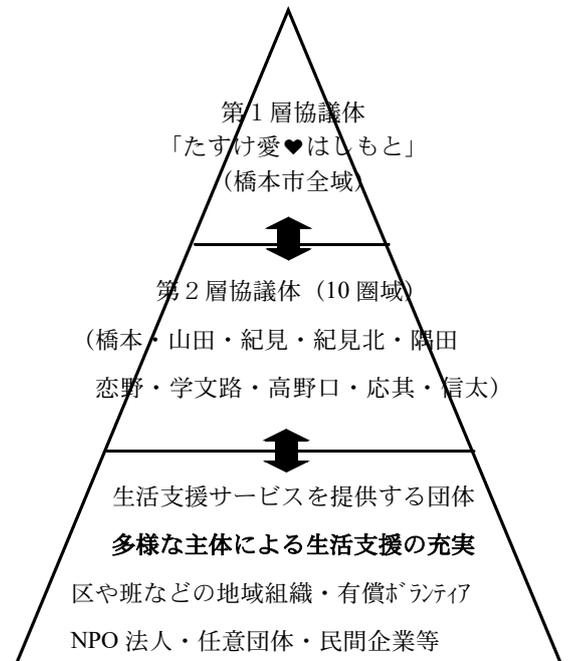
-すみよい地域をめざして-

◆地域で助け合う共生の仕組みづくりをすすめています

信太地区においても少子高齢化が深刻な問題になっていきます。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちよつとしたお手伝いを頼めるような**住民主体の助け合い**を創り出すことが大切であると考えています。そしてその体制をつくるため、2018年（H30）2月に「たすけ愛信太」（第2層協議体）を設立し、2ヶ月に1回話し合いを進めています。



元 信太小学校を使用しています



右は第1層協議体、第2層協議体等のイメージ図です。
 (上下関係を現すものではありません) 第2層協議体を地域住民で運営していきます。
 信太地区は愛称を「**たすけ愛信太**」にしました。
 下はそのメンバーです。



【たすけ愛信太メンバー】

- 九重区・上中区・下中区・西川区・嵯峨谷区・竹尾区
田原区の各区長
- 各区よりの推薦者
- 老人クラブ連合会会長
- 第1層協議体会員
- 社会福祉協議会職員
- 市役所職員

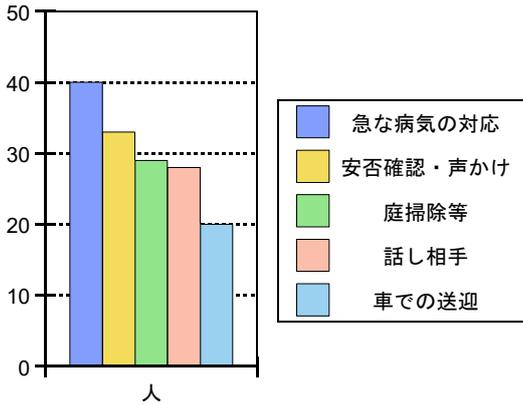
◆アンケート結果

私たちがどんなことに取り組めるかについて話し合うために、まず地域の方々の生活の様子をお伺いすることになりました。2018年10月に信太地区の65歳以上の方を対象にアンケートを行いました。

左の表は「助けて欲しいこと、気になること」の上位5つです。また下の表は信太地区の人口動態です。これ以外にも一人暮らしの方（回答中、32人・11%）が増えているなど、今まで以上に地域での支え合いが大切なことが伺えます。

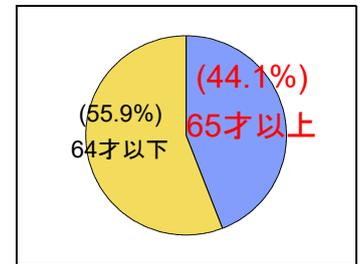
(回答：290 / 配布：360)

助けて欲しいこと 気になっていること	人
急な病気の対応	40
安否確認・声かけ	33
庭掃除等	29
話し相手	28
車での送迎	20



【信太地区人口動態】

項目	人	
信太地区人口	805	
65才以上	355	44.1%
64才以下	450	55.9%
介護認定者数	64	



(H.31年3月末)

◆現在取り組んでいること

- 信太地区の各区で「避難行動要支援者 個別支援」の作成に取り組んでいます。
 - 災害時における避難時の声かけ、要支援者のサポート等のシステムづくり。
 - 一人暮らしの方への声かけや見守り。
 - サポートの仕方について、統一した形式で情報を管理する。(用紙に記入し保管しておく。必要に応じて対応する。)
- 今後の課題として勉強や研究していること。
 - 気軽に飲食や娯楽、また学習できるような居場所づくりをどうするか。
(現在、ふれあいサロン「田園」は下中集会所で定期的に活動しています。)
 - 将来必要になってくるであろう移動支援体制をどうするか。(買物・他)
 - 高齢化により家事が負担になったとき、気軽に助けを求められる体制をどうつくるか。

「たすけ愛信太」では、移動支援について勉強会に参加したり、定例会議にさくら苑のケアマネジャーを招き、信太地区の課題について意見交換するなど、これからすべきことを模索しています。今後、活動を進めていくためにも、“こんなこと助けてほしい”、“こんな方法があるで”、“私はこんなことやったらできるで”というような声を集めたいと思っています。各区の区長や本会の会員に気軽にお声がけください。